



舟橋中学校だより

Funahashi Junior High School News

令和6年度 **6月号**

令和6年6月発行

学校の教育目標

「学び」の精神をもち、仲間を思いやり、
たくましく生きる生徒の育成

目指す生徒像

- ふ … ふるさに根ざし、広い世界に羽ばたく生徒
- な … 仲間を思いやり、相手の立場になって考える生徒
- は … 働くことにやりがいを感じ、心と体の健康に努める生徒
- し … 知る喜び、分かる喜びを求めて学び合う生徒



学校行事等予定

《6月》

- 20日(木) 学習公開
- 21日(金) ネットトラブル防止教室
- 24日(月)～26日(水)
1学期評価 
- 28日(金) すこやか検診 (2年)

《7月》

- 1日(月)～5日(金)
社会に学ぶ「14歳の挑戦」
- 3日(水) 集金振替日
- 4日(木)、5日(金)
第1回到達確認テスト(3年)
- 6日(土)、7日(日)
県選手権大会
- 11日(木) 専門委員会
- 12日(金) 健康教室 (3年)
- 13日(土)、14日(日)
県選手権大会
- 16日(火) 結団式、選手・役員選出
- 17日(水)～22日(火)
三者懇談会
- 19日(金) アルバム写真撮影 (部活動)
- 23日(火) 給食終了
球技大会 ワックス掛け
- 24日(水) 終業式
- 25日(木) 夏季休業 (9/1まで)
- 27日(土)、28日(日)
県民体育大会 

舟橋中学校の日々の様子(中
学校HP)は、右記のQRコ
ードからご覧になることがで
きます



「あたりまえは、あたりまえじゃない」

教頭

皆さんはじめまして。4月から舟橋中学校に勤務しております松井功一と申します。よろしくお願いたします。4月から舟橋中学生の生活の様子を見て「すごいな」と思うことがいくつもありました。

- ①生徒が一度立ち止まってから、私に向かってお辞儀をして「おはようございます」と言ってくれたこと。
- ②午後からの授業でもほぼ全員が、姿勢を伸ばして真剣に授業を受けていること。
- ③給食のはじめに「喜びと感謝と敬いの心をもって」と声を合わせてから「いただきます」と言っていること。
- ④開始時刻5分前には清掃場所に集合して清掃を始めること。
- ⑤TODO リストの記入や自学を毎日欠かさず行っていること。等

これらのどのことも舟橋中生には「あたりまえのこと」に感じていることだと思えます。先輩もしてきたことだし、ずっと続いてきたことだから・・・程度にしか思っていないかもしれませんが、すごいことだと思えます。これは舟橋中だからこそ続けることができた「あたりまえのこと」だと思えます。生徒一人一人の意識の高さや保護者の皆様のご理解とご協力があってこそものではないでしょうか。

この素敵な「あたりまえじゃないあたりまえ」をこれからも続けていけるように私たちも生徒を支えていきたいと思えます。

また、生徒達は5月の創校記念式のアフリカからのメッセージ動画やユニセフ教室から「日本の毎日の生活はあたりまえじゃない」と感じていると思えます。「あたりまえ」のように水が出て、電気を使い、車があり、ご飯が食べられる。この「あたりまえ」も家族の支えがなければ成り立ちません。生徒に快適な生活を営める「あたりまえ」に感謝して自分ができることを努力し、周囲に貢献していく気持ちを育てていきたいと考えています。

自分を振り返って・・・「あたりまえの生活や行動をあたりまえにすること」これが一番難しいと思っています。

大会結果

中新川郡民スポーツ大会

- テニス競技 (中学生の部)
男子の部 1位 H.K.
女子の部 1位 S.M.
- 陸上競技
中学女子100m 2位 O.K.
共通女子走幅跳 1位 O.K.
中学男子800m 2位 I.S.

中学男子3000m 2位 I.S.
- 卓球競技
中学女子2・3年の部 1位 I.H.
3位 S.A.
中学男子1年の部 2位 I.K.



新川地区中学校総合選手権大会

- 卓球競技
女子団体の部 1位
個人入賞 S.R.
I.H.
T.J.
S.A.
H.M.
H.S.
- 軟式野球競技
3位 雄山中と合同
- バドミントン競技
個人の部 3位 T.M.

校外で活動する生徒も含め、大会はまだまた続きます!

- 剣道競技
個人の部 3位 M.H.
- 陸上競技
共通女子走幅跳
3位 O.K.
3年女子100m
4位 O.K.
2年男子100m
6位 D.Y.
共通男子3000m
5位 I.S.
共通男子1500m
5位 I.S.



各学年で取り組んでいることをお伝えします

1 学年

韋編三絶(いへんさんぜつ)

本校では、学校図書館教育の一環として、総合的な学習の時間に「読み聞かせ」「本の帯作り」を村立図書館、舟橋小学校と連携して実施しています。また、一日のスタートに「読書タイム」を位置づけて10分の読書活動を行っています。一人一人が水をうったように静寂に本に集中している様子には感心させられ、活字離れといわれ久しいですが、小中連携で時間をかけて築いてきた賜物だと感じさせられます。

私自身昔からそんなに本を読むほうではありませんでしたが、学生時代にゼミの先生から「韋編三絶」という故事成語を教わりました。それは、孔子が易経をくりかえし読み、綴じた革ひもが切れ、三度補修したという故事から生まれたそうです。先生は「本当の読書というのは、これはという本を繰り返し読み込むことだよ」と言われました。さらに繰り返し読むことが「こころを豊かにし、教養を高めるのだよ」と付け加えられた。生徒たちの様子からふと思い出し、生徒たちにはそんな本にめぐり合えるようにたくさんの本を読み続けてほしいと思いました。

【生徒のおすすめ本 紹介文】

「7つの習慣」スティーブン・R・コヴィー著 自分の人生は自分で変えると思えるきっかけになり、いままでの生活を振り返り、今後幸せに生きていくための考え方を知ることができます。(S)

「まだ見ぬ春も君のとなりで笑っていたい」汐見 夏衛著 人生うまくいかない人でもうまくいくことが分かる本なので、うまくいっていないと思っている人に読んでほしい本です。(Y)

【副担任】

2 学年

「社会に学ぶ『14歳の挑戦』に向けて」

今年度は7月1日(月)～5日(金)に行います。事前学習として、これまで「話の聞き方」、「相手への伝え方」を学習したり、「学年スローガンや5箇条」について学級で話し合ったりしました。級友の話聞いて、ソーシャルスキルについて理解を深めたり、相手への伝え方を工夫したりする姿勢がみられました。

【生徒の感想】

- ・自分自身の気持ちや考えだけでなく、相手の思いを正しく聞いて理解したうえで、コミュニケーションをとることが大切だと思いました。
- ・1つの物事だとしても伝え方が何通りもあって、前もってどうやって伝えるかを考えておくことが大切だと思いました。



【担任】

3 学年

ふるさとのためにできること

3学年は、6月から「ふるさとのためにできること」というテーマで学習を始めました。先日の授業では、まず、ふるさとに対するイメージをみんなで話し合いました。そこで、自分たちの思いだけでなく、村民や舟橋村に貢献している人々の「舟橋村」に対する思いや願いも聞こうということになりました。そして、聞き取りやアンケートの方法等を話し合いました。生徒たちは、これまで学んできたことを生かして、地域の方と関わりながら、地域の一員として「舟橋村のためにできること」を考え行動していく予定です。



総合的な学習の時間を通して身に付けてほしい力

- 「探究する力」「人と関わり合う力」「表現する力」
- 課題追究を通して、社会の変化に主体的に対応できる資質や能力
- 社会の多様な側面との関わり合いから平和や地域の今日的な問題を認識する力

【生徒の感想】

- ・今までの先輩たちが行っていたことを知っていたので、私たちの番なのだとワクワクします。人が集まる人気の村をつくりたいです。
- ・舟橋村で気持ちよく過ごすために活動を頑張っていきたいです。
- ・舟橋村をよくしようとみんながいろんな意見を出せていてよかったです。
- ・村をよくし、暮らしやすい場所をつくれるように頑張りたいです。

【副担任】

舟橋村にお住まいの皆様へ

いつも学校だよりを読んでいただき、ありがとうございます。舟橋中学校では、保護者の方々や地域の皆様と一緒に子供の学びを支えていきたいと考えております。今後とも学校だよりをご一読いただき、ご意見ご要望などをお寄せください。